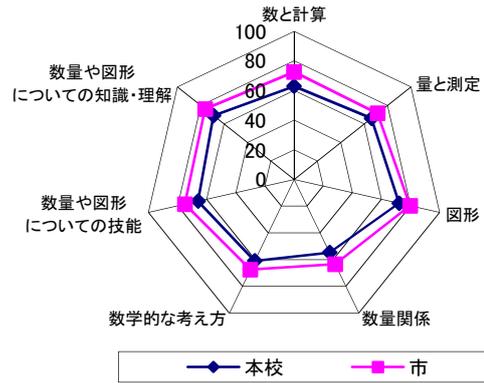


宇都宮市立新田小学校 第5学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	62.9	72.5
	量と測定	66.2	71.5
	図形	72.1	79.6
	数量関係	54.8	63.5
観点別	数学的な考え方	61.0	67.6
	数量や図形についての技能	66.0	75.1
	数量や図形についての知識・理解	69.1	76.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>・宇都宮市の平均正答率と比べ、9.6%低い。文章問題を解くための小数のわり算の立式は市の平均をやや上回った。しかし、その他は下回っている。特に、帯分数・仮分数・整数の大小を問う問題や、分数の計算の中でも帯分数が混じった計算、また、小数のかけ算・わり算では、14～18%下回っている。</p>	<p>・分数の性質を確認し、分数同士・分数と整数・分数と小数の大きさの比較や、帯分数を仮分数に直して計算する方法について習熟を図っていく。また、小数のわり算やかけ算において、答えを出す際に間違いやすい小数点の位置についての理解を深める。</p>
量と測定	<p>・宇都宮市の平均正答率と比べ、5.3%低い。展開図から直方体の体積を求める問題は市の平均と変わらない正答率だった。しかし、その他の問題に関しては下回っている。</p>	<p>・体積については、具体物を用いて体積の求め方を視覚的に理解できるようにし、公式を使った計算で求められるようにしていく。単位量あたりの大きさでは、平均することと単位量あたりの大きさを求めることの間接性を確認し、何を求めるためにどんな立式をしたらよいかを数直線や図などを用いて考えさせ、習熟を図っていく。</p>
図形	<p>・宇都宮市の平均正答率と比べ、7.5%低い。合同な図形の性質の問題は、市の正答率を上回った。しかし、四角形の対角線の性質を問う問題では、15%下回っている。</p>	<p>・三角形の内角の和について確認し、四角形や多角形の内角の和は、図形を三角形に分ければ求められることを理解させる。その上で、角の大きさを求める問題に取り組み、習熟を図る。</p>
数量関係	<p>・宇都宮市の平均正答率と比べ、8.7%低い。「整数×小数+整数×小数」の計算を工夫して計算する問題では、15%下回った。</p>	<p>・計算のきまりに関する事項について確認をする。特に、分配法則については、例を示して理解を深める。また、同様の練習問題に取り組み、計算のきまりが身に付くようにする。</p>